

2026年度千葉県私立大学・短期大学間及び放送大学間の  
単位互換包括協定に基づく特別聴講学生出願手続き等について

千葉商科大学

1. 出願方法等

(1) 出願書類

ア. 特別聴講学生出願票（本学所定用紙）

イ. 顔写真2枚

写真は最近6ヵ月以内に撮影した無背景（単色）の顔写真とし、縦4cm×横3cmの大きさとし  
ます。1枚は特別聴講学生出願票の所定欄に貼付してください。もう1枚は聴講許可後に本学で  
の身分証明書用として使用しますので、出願票に同封してください。

(2) 出願受付期間

下記期間内に所属大学経由により、所属大学長印を押印した特別聴講学生出願票を本学教務課に  
提出してください。なお、特別聴講学生出願票は所属大学に請求してください。

ア. 春学期 2026年2月25日（水）～2026年3月11日（水）必着

イ. 秋学期 2026年8月19日（水）～2026年9月2日（水）必着

2. 受入許可等

所属大学からの依頼に基づき、受入を許可した場合は次の期日までに所属大学へ受入許可の通知を  
します。本人には直接通知しません。

(1) 春学期 2026年3月31日（火）

(2) 秋学期 2026年9月30日（水）

3. 授業日程等

授業日程（補講日含む）は以下の通りです。授業初回日や教室等は、受入許可通知に記載します。

(1) 春学期 2026年4月15日（水）～2026年7月29日（水）

(2) 秋学期 2026年10月9日（金）～2027年2月3日（水）

4. 授業料

なし。ただし、授業科目によって教科書及び教材費が必要な場合は、各自の負担となります。

5. 成績

成績は千葉商科大学のスケジュールに則り、春学期は9月上旬、秋学期は3月上旬に所属大学に通  
知する予定です。4年生は、成績通知の時期が所属大学の卒業判定に影響する場合がありますのでご  
注意ください。

6. 施設利用

本学学生に準じます。

7. 諸注意

(1) 自動車及び二輪車による通学は禁止します。

(2) 障がいや疾病及び怪我などの理由に依りて、受講時に必要な配慮を行います。配慮が必要な方  
は、出願前に教務課にご相談ください。

8. 問い合わせ先

〒272-8512 千葉県市川市国府台1-3-1

千葉商科大学 教務課（平日9時～17時）

TEL：047-373-9754 / E-mail：kyomu-kyotsu@cuc.ac.jp

以上

## 2026年度 特別聴講学生出願票

千葉商科大学長様

写真貼付欄

無背景（単色）の正面脱帽顔写真で、最近6ヵ月以内に撮影したもの。

（縦4cm×横3cm）

特別聴講学生として、下記科目を受講したく出願いたします。

出 願 者	学籍番号					性別	□ 男 ・ □ 女	
	フリガナ氏名					生年月日 ※西暦表記	年 月 日生 ( ) 歳	
	現住所	〒						
	携帯電話番号							
	メールアドレス							
	所属大学							
	学部・学科						学 年 ※1	
出 願 先	受講科目	学部	学期	曜日	時限	科目名称	担当教員名	
出願理由								
出願理由								
出願理由								
出願理由								
出願理由								
出願理由								
出願理由								

上記学生を貴学の特別聴講学生として、出願することを認めます。

年 月 日

学長 印

※1 受講年度の学年を記入してください。

## 2026年度千葉商科大学 特別聴講学生 開講科目一覧

### 1. 授業形式について

本学では対面による面接授業のほか、以下の形式による授業を行っています。下表の科目名称に【 】で付記がない科目は、面接授業となります。

#### (1) オンデマンド型授業

本学CUC PORTALやMicrosoft Teams等のシステムを利用して受講する授業です。履修者は教員が指定する課題（録画された授業動画や資料等）を指定の期間内に各自学修します。

#### (2) リアルタイム型授業

Microsoft Teams等のシステムを利用して受講する授業です。履修者は、教員がリアルタイム配信する授業動画を視聴し、課題に取り組みます。

#### (3) ブレンド型授業

面接授業・オンデマンド型授業・リアルタイム型授業を組み合わせる授業です。どの授業回でどの形式の授業となるかは、教員毎に異なります。初回授業にて教員より説明がありますので、必ず確認してください。

### 2. 注意事項

下表の時間割情報は、2026年1月末時点のものとなります。開講学期や曜日・時限等が変更となる場合があります。

### 3. 春学期 開講科目

#### 【商経学部（春学期）】

No.	曜日	時限	科目名称	担当教員	科目概要
1	月曜日	2	管理会計論I	土屋 清人	管理会計は、営利・非営利を問わず組織を運営するときや、意思決定を行う際に必要とされる会計情報を提供するものである。この講義では、営利を目的とした企業の管理会計について学習する。管理会計の内容は、未来に向けての意思決定会計と過去を振り返る業績評価会計といえる。企業において発生するコストを様々な視点で捉え、また利益をアップさせるポイントを知ることにより、マネジメントを学習する。特に管理会計は、企業経営と密接な関連性が強い。企業経営といっても、大企業から中小企業まであり、その業種は様々である。この講義では、一般的な管理会計の知識の取得だけではなく、業種別における企業経営の特徴を知ることによって、会計思考によるマネジメントを修得する。
2	月曜日	2	経営戦略論(商経)	坂本 旬	企業をはじめとする組織は、外部環境や組織特有の価値観などを考慮して目的を定め、その目的に向かってどのように進むかという方向づけを行っている。また、そうした方向づけに従って適切な組織を設計し、日々の活動に取り組んでいる。このように、組織が長期的な目標を達成するための道筋について、組織が置かれた環境との関わりで示した長期的な構想が、経営戦略である。本講義では、企業を中心とした組織で行われる様々な意思決定のガイドラインやルールとなり得る戦略とはどのようなものか、そしてそれはどのように決定されるかということについて、経営学や経済学の考え方をを用いて検討する。また、経営戦略論は実践的な側面を多くもつ学問でもある。したがって、企業の実際のケースを多く用いながら戦略について学び、戦略の基本ツールや枠組みを活用しながら、優れた戦略を策定するためのプロセスについても考察する。
3	火曜日	1	ファイナンス入門	三田村 智	ファイナンスとは資金の流れをともなう様々な領域を取り扱う学問である。例えば、企業は投資プロジェクトを実行するかどうかについて、収入と費用を比較考量して決める。この際、もっぱら収入と費用は金額ベースで評価される。プロジェクトを実行することになれば、必要な資金を調達することになる。そして、プロジェクト実行後に成果が生まれれば、債権者に利子や元本を返済し、法人税を支払われた後に、残りは株主に配当したり、一部を留保して次年度以降のプロジェクトに活用したりする。このように投資決定、資金調達、株主への配当・利益還元からなる企業活動は、常に資金の流れをともなう。企業だけではない。ファイナンスは、私たちの経済生活にも深く関連する。私たちはしばしば、収入の一部を生活費などの消費にあて、残りを将来のための貯蓄にまわす。家を建てたりマンションを購入したりといった大きな買い物をする際には銀行からの借入れ（住宅ローン）を利用することがある。では、ふだんの生活の中で、どのように余った資金を運用し、どのように足りない資金を借入れて返済していけばよいのか。これを考えるのもファイナンスである（ファイナンシャル・プランニング）。ファイナンス入門では、企業金融論、資本市場論、証券投資論からなるファイナンスについて、その基礎・全体の構造をわかりやすく講義する。この授業を通じて、ファイナンスの視点から企業の経営活動・経済の仕組みに対する理解を深め、また株式投資など経済生活に有効な知識も身につけよう。
4	木曜日	4	情報ビジネス論I	楊 文賀	情報化が進む現代社会において、経営情報の適切な活用は企業や組織の成功を左右する重要な要素となっている。この授業では、企業や組織における経営情報の基礎概念、情報通信技術の進展、そして経営情報システムの役割などを学ぶ。そのうえで、経営情報が企業活動や社会生活にどのように関わっているかを、具体的な事例を通じて解説する。さらに、情報化社会の利便性だけでなく、その課題やリスクについても批判的に考察し、情報社会に主体的に貢献できる意識と態度を養うことを目指す。
5	木曜日	5	経営組織論(商経)	布施 雄治	本科目では、経営組織論の一分野である「マクロ組織論」の講義を行う。組織には企業、大学、政府・行政やNPOなどがあるが、本科目ではマクロ的視点から企業という組織を理解することに重点を置く。具体的には、組織の定義、組織構造、「組織と戦略」、2社以上の企業間で繰り広げられる協調関係の構築といった組織間関係などのテーマを扱う。組織を理解するために、「マクロ組織論」の基礎知識と理論を修得し、組織や企業活動に関して今日実際に生じている問題についても理解を深めていく。
6	金曜日	1	初級簿記I	森 浩気	本講義は、簿記の初心者を対象に、各種専門科目を学ぶために必要不可欠な簿記の基礎知識を習得することを目標とする。簿記は、企業が行う取引を記録する技術である。企業が行う取引を適切に理解するためにも簿記の知識は必要である。また、財産管理や営利企業の利益計算にも簿記は必要となる。この様に取引の適切な理解、財産管理、利益計算等に不可欠な簿記の技術を解説する。なお、簿記には各種の資格試験があるが、これらの資格取得への導入としても役立つ。初級簿記Iでは、主に、簿記全体の仕組みや記録の規則について学ぶ。

No.	曜日	時限	科目名称	担当教員	科目概要
7	-	-	マーケティング論I 【オンデマンド】	大風 薫	マーケティングとは、日々変化する環境へ適応しながら行う「売れ続ける仕組み作り」または「(消費者に)選ばれ続ける仕組み作り」である。それには消費者ニーズ、外部環境、強みや弱みとなる経営資源、競合の戦略など様々な要素を分析しながら、効果的な戦略立案を効率的に行わなければならない。そこで本講義では、最も広く受け入れられている伝統的マーケティングの概要と、それに付随する基礎的な諸概念と理論を中心に、近年のマーケティング論の広がりについても学んでいく。
8	-	-	マーケティング論II 【オンデマンド】	櫻井 聡	マーケティング・マネジメント戦略において企業は「マーケティング・ミックス」を策定する。これはProduct(製品)、Price(価格)、Place(流通)、Promotion(プロモーション)の4つのPから構成される。そこで本講義ではそれらの各論について学んでいく。また、マーケティングの中心的概念である「消費者」のモデルや、その他の重要事項など「もう一步深く入り込んだ」マーケティングの諸概念と諸理論についても学んでいく。
9	-	-	経営管理論(商経) 【オンデマンド】	奥寺 葵	20世紀の文明が築き上げた産業社会は、企業を中心に展開されているといっても過言ではない。具体的には、仕事はもちろんのこと、衣食住、移動手段、通信手段、テマパークなどの余暇を楽しむためのサービスに至るまで、企業を抜きに生活を考えることは出来ない。すなわち、経済活動の中心的担い手は企業であること、また企業の活動とその成果が人々の生活の豊かさに結びついていること、そして多くの人が仕事の満足や社会的生活の充実を企業から得ていることなどは、経済体制や国情とは無関係に全ての国に共通する現実である。それだけに人々の豊かさを社会的に実現しようとする社会科学にとって、企業の経済活動の分析は真正面から取り組むべき最重要課題である。本講義では、企業の内部における人と資源が織り成す有機的な協働システムの実態を把握し、そこから生み出される企業に固有の独自能力の展開を理解することを課題としている。すなわち、企業のマネジメントを問うこと、経営管理とは何かを理解することである。そのために、本講義では、現代の企業の実態に照らし合わせて、伝統的なミク伝統的なミクロ的管理論にとどまらず、組織論や戦略論の成果を十分に踏まえ、環境適応や組織変革、グローバル戦略や日本の経営管理など、最新の領域も積極的に取り入れ、体系的に経営管理を理解することを狙いとしている。学生の皆さんには積極的な講義への「参加」が求められる。
10	-	-	情報システム論I 【オンデマンド】	小林 直人	情報システムとは、情報を収集、処理、蓄積するコンピュータと、情報を伝達するネットワークを組み合わせて、様々なサービスや機能を提供する仕組みのことをいう。本科目では情報システムについて、その実現方法や開発方法といった技術に関する面について学ぶ。具体的には「データベース」「情報システム開発・設計」「プログラミングの仕組み」について学ぶ。講義を通じて、現代社会における情報システムの実現に必要なとなる考え方を把握し、情報システム開発関連の業務だけでなく、一般的な業務においてもAI開発ツールなどで簡易システムを実現する際に、その考え方を活用できるようになることを目的とする。
11	-	-	組織行動論 【オンデマンド】	張 森	本授業では、企業・組織内で働く従業員個人や集団レベルの現象を扱う。たとえば、皆さんそれぞれが所属する組織の中で、「どのようなチームであれば良いパフォーマンスを上げるのか」「メンバーのモチベーションはなぜ上がらないのか」など、ふと疑問に思ったことがあるのではないかと。このような身近に存在する「人」に関する疑問に対して、企業をはじめ様々な組織を対象としながら分析できるようになることを目的とする。

### 【総合政策学部(春学期)】

No.	曜日	時限	科目名称	担当教員	科目概要
1	月曜日	1	都市経済学	後藤 啓	人口や産業の集積が生じるメカニズムや、土地利用の形態、地域間の交易パターン、住宅価格などがどのように決まるのかについて学びます。
2	月曜日	2	Webとソーシャルメディア	長尾 雄行	Web技術は、検索エンジン、ニュース、eコマース、ソーシャルメディアなど、現代社会のさまざまな場面で活用されている。本科目では、デジタル社会におけるコミュニケーションを支えるWeb技術の基礎を学び、Webメディア上で人びとがどのように相互作用し、情報がどのように流通しているのかについて理解を深める。講義と演習を通じて、HTML(HyperText Markup Language)および関連する周辺技術の基礎を修得し、それらがソーシャルメディア等でどのように応用されているかを分析する。さらに、デジタル社会においてAPI(Application Programming Interface)を介して複数のメディアやサービスが連携・分業する仕組みについて学ぶ。
3	月曜日	5	マクロ経済学II	田原 慎二	本講義は、入門レベルのマクロ経済学(国民所得の決定や基本的な政策の仕組み)を一通り理解した学生を対象に、マクロ経済学で標準的に用いられる理論枠組みと現実の経済政策の事例について学ぶ。具体的には、45度線分析による財市場の均衡の捉え方を起点として、IS-LMモデルによる財市場と貨幣市場の同時均衡、金融政策・財政政策が所得や利子率に与える影響などについて解説する。さらに、フィリップス曲線を通じてインフレ率と失業率(あるいは景気)の関係、期待インフレや供給ショックを踏まえた短期・中期の政策トレードオフを扱い、景気安定化政策をめぐる論点を理解できるようにする。また、マンデル=フレミング・モデルを用いて開放経済の基本を学び、資本移動の程度や為替制度(固定・変動)によって、金融政策・財政政策の有効性がどのように変化するかについて学ぶ。為替レート、国際収支、金利平価といった概念を、グラフと簡単な式の関係として捉え直し、国内経済と海外部門が結びつくメカニズムを説明できることを目指す。授業では文章や図解による直観的な説明に加え、モデルの前提、均衡条件、比較静学(政策変更による均衡の動き)を簡単な数式で確認し、計算問題にも対応できる基礎を固める。本講義の履修を通じて、公務員試験や各種資格試験で求められるマクロ経済学の主要な範囲を学修することができる。

No.	曜日	時限	科目名称	担当教員	科目概要
4	火曜日	1	公共政策論【ブレンド】	戸川 和成	私たちの生きる現代社会は、財政問題や例外なく直面する少子高齢化の問題など多様で複雑な問題であふれている。それは個人の努力だけでは解決できない問題である。公共政策は、社会の問題であると認知され、「政策問題」と化した問題の解決手段・解決案を指す。そのため、公共政策は非常に広範囲で、私たちの生きる現代社会でとても重要である。この講義では、まずは、1) 数多くの問題の解決案である「公共政策とは何か」という問題に対する基本的理解の習得を目指す。さらに、日本を中心とするのではなく、世界の国々にも通じる理解の基礎を得るべく、「制度」・「規範」を整理した上で、政策運営のプロセス(政策過程)を考える。それは、2) 公共政策を社会からの要望・要求が政策として変換されるマクロな政治プロセスである。とりわけ、この講義では「システム」という発想から政策運営を考える。そして、概括的ではあるが、「環境(政策情報)」、「問題化」、「立案」、「決定」、「実施」、「評価」、「改善・終了」という局面から「政策過程」を学び、公共政策を概括的に説明しうる能力の育成を目指す。また、政治という舞台では、3) 「誰が役者(アクター)か」ということを念頭に置きながら、考えていく必要がある。この講義では、概括的に公共政策をめぐる諸アクターの役割について、「有権者とマスメディア」、「社会集団」、「議員と政党」、「首相と大統領」、「官僚制と裁判所」から学ぶ。そして、諸アクターが織りなす政治空間を、4) ローカル・ナショナル・グローバルに分け、その現実を一緒に考えていく。
5	火曜日	2	民法II	大久保 優也	講義では、民法のうち物権分野、債権総論分野を対象とする。できる限り、判例を基にした事例問題を扱う予定である。民法は条文や判例の数が多く、扱う事項も多いが、公務員試験など、各種国家試験において大きな比重を占めており、学習を欠かすことができない分野でもある。受講者は特に復習に力を入れること。毎回の講義では、教科書に沿って講義を行う。また、受講者に分かりやすく講義を行うために、双方向を重視する。講義では、まず、検討問題という簡単な問題を配布し、受講者の中から数名回答者を指名し、(受講者のそれまでの知識や直感を通じて)答えてもらう予定である。そして、それに対して判例や理論的立場から応答を行い、受講者の理解を促す。また、毎回予習課題としていくつかの問題を配布して、次の講義で受講生に答えてもらうことも予定している。この講義では、判例をもとにした具体的な事例問題を数多く用いる予定である。
6	火曜日	3	環境政策入門	杉本 卓也	環境問題の基礎的情報を学び、それらを適宜話題になっている身近なものの中に発見し、環境問題としてその身近なものを捉え直す。地球規模の取り組みや地域での取り組みを理解するとともに、履修者個人の生活や消費行動が環境とどのように関わりを持っているのかを理解する。環境問題は簡単には解決できないという複雑さを理解した上で、環境問題とは何か、それに対する自分の意見を言えるようにする。「エコ検定」受験・合格をめざす。公式テキストに沿って環境の基礎を学修する。環境問題の基礎的情報を学び、それらを適宜話題になっている身近なものの中に発見し、環境問題としてその身近なものをとらえ直す。任意ではあるが、できる限り全員が「エコ検定」を受験し合格を目指す(試験日は、例年7月中旬~8月上旬)。※エコ検定は、webテスト形式で実施される。
7	火曜日	3	民法III	大久保 優也	この講義は、主に民法の債権法のうち債権各論に関する講義を行う。民法は条文や判例の数が多く、扱う事項も多いが、公務員試験など、各種国家試験において大きな比重を占めており、学習を欠かすことができない分野でもある。受講者は特に復習に力を入れること。毎回の講義では、教科書に沿って講義を行う。また、受講者に分かりやすく講義を行うために、双方向を重視する。講義では、まず、検討問題という簡単な問題を配布し、受講者の中から数名回答者を指名し、(受講者のそれまでの知識や直感を通じて)答えてもらう予定である。そして、それに対して判例や理論的立場から応答を行い、受講者の理解を促す。また、毎回予習課題としていくつかの問題を配布して、次の講義で受講生に答えてもらうことも予定している。この講義では、判例をもとにした具体的な事例問題を数多く用いる予定である。
8	火曜日	4	地方財政論	江波戸 順史	地方自治体の財政について理論と制度の観点から学習する。地方財政の機能と予算、地方税や地方債などの歳出、土木費や教育費などの歳入について学ぶ。その得た知識を活かして、市川市の財政が黒字なのか赤字なのか、弾力性のある自治体活動が行われているのか診断する。
9	火曜日	4	GIS入門	松崎 朱芳	GIS(地理情報システム)はパソコン上に示されるデジタルの地図です。GIS上に地域の人口や面積の情報を載せ、さらに鉄道駅や路線網、観光や商業、公共施設などの分析対象となる情報を載せることで地理的な分析が可能となります。例えば、鉄道駅からの観光施設の距離を把握し、その距離に基づいて、交通網を整備したり、他にも商業施設周辺に存在する商圏の人口の予測することが可能となります。こうした分析は実社会でも広く役立てられており、企業や役所においても活かせるものになります。この講義ではGISの基本操作を習得するとともに、分析の手法について具体的に学びます。その際に、世界で最も広く用いられているGISソフトウェアであるArcGISを使い、地域の地理的特徴を分析する方法について具体的課題を通じて実習していきます。なお、この講義の実習で使うデータについてはインターネット上にフリーで提供されているデータなどを収集、加工して使用していきます。
10	火曜日	5	パーソナルファイナンス	大塚 茂晃	FP3級の資格取得を目指すための基本的な知識をつける講座である。その内容は多岐にわたるため、広く浅く行う予定である。
11	水曜日	1	ミクロ経済学II	内海 幸久	社会には無数の人々が存在し、様々な組織や機構が形成されている。それらが相互依存しつつ複雑に関連している経済活動も、全体としては秩序が保たれているように見える。このような個人と全体との経済秩序を保つメカニズムを解明することが、本講義の目的である。講義では、一般均衡理論を中心に解説を行う。競争市場において消費者や生産者はどのように行動するのか、競争市場の基本的な性質とは何か学ぶ。講義の後半では、種々の経済制度の性質を明らかにした上で、制度の理論的な比較分析を行う。講義の内容は、ゼミナールでの活動を含め、経済の各コースを本格的に勉強しようとする人にとっての基礎となるであろう。授業は、講義と演習セッションからなり、演習セッションでは主として講義の理解を深めるための問題演習などを行う。演習問題を課題として提出してもらうことになる。CUCポータルクラスのファイルからミクロ経済学IIに関する講義資料や課題を必ずチェックする必要がある。担当者により課題の配布方法が異なるので、初回の講義に必ず出席して、詳細を確かめること。

No.	曜日	時限	科目名称	担当教員	科目概要
12	木曜日	1	ゲーム理論	内海 幸久	講義のタイトルであるゲーム理論とは、「複数の意思決定主体が存在する状況を記述し、分析するための言語」と言われています。現在では、経済学をはじめ、経営学や政治学をはじめ心理学・社会学など幅広く応用されている。本講義ではゲーム理論の入門を、応用例を交えながら説明していく。最終的には計算方法を含めた分析手法の習得を目標とする。CUCポータルクラスのクラスプロフィールからゲームに関する講義資料や課題を必ずチェックする必要がある。詳細については、初回の講義時に確認すること。
13	木曜日	2	都市計画入門	榎戸 敬介	「都市」は人類の可能性を育む空間であり、また問題に満ち溢れた空間でもある。「都市」は人類によって創造され、運営されていくものであり、私たちの使命は、そのような「都市」をより快適に住み続けることのできる空間として再創造し、維持していくことである。そのためには、良い「都市」とは何か、悪い「都市」とは何かを考え、「都市」がどのようにして創られたのか、誰によって創られたのか、また、「都市」の現状はどのようなものなのか、理解する必要がある。この授業では、さまざまな事例や文献講義を通して、私たちが市民として、あるいはプロフェッショナルとしてより良い都市づくりに参加していくための幅広い知識とセンスを養い、またワークショップ、ディスカッション、プレゼンテーションなどにより問題発見・課題設定・解決策立案の力を養っていく。また、「都市」のリアリティを理解するために必要に応じてフィールドワークを実施する。
14	木曜日	3	ヨーロッパ経済論	大賀 紀代子	古くからヨーロッパの経済を牽引していた国の一つであるイギリスについて、経済の時系列的な移り変わりを学ぶ。
15	木曜日	4	政治学特論	淵元 哲	本講義は、政治学の基本的なテーマを網羅的に教授することを目的としている。現代政治学は、非常に細分化しているが、一方で相互につながりをもつものでもある。本講義はその「つながり」を意識しつつ、政治学の基礎的な内容を理解してもらうことを狙いとしている。また本講義は、政治学が出題される公務員試験にも資するように配慮する。
16	金曜日	1	医療経済学	山田 武	本講義は、経済学の基本的な考え方を医療・健康に関わる現象に当てはめ、医療制度や医療市場で何が起きているのかを経済学的に分析し、理解することを目的とする。公的医療保険制度の仕組みから出発し、医療需要・医療供給、情報の非対称性、保険理論、医療技術、EBMと費用対効果、介護、公衆衛生、健康と公正、マクロ医療費まで幅広く扱う。授業は反転型で、受講者は事前に動画教材・資料で予習しライブに取り組みだうえて講義に参加する。講義では疑問点などの解消や事例を中心に学び、講義後は内容の要点整理に加えて、関連する実例をインターネット上から探し要約・コメントすることで、知識を現実と接続する。
17	金曜日	1	環境政策論	杉本 卓也	経済活動や社会活動といった人間の活動の基盤に「環境」がある。環境の領域は多岐に渡り、大気や水などの生活環境、動植物などの自然環境、そして気候変動・温暖化問題を扱う地球環境などさまざまである。この授業では、さまざまなトピックを通じて環境政策の制度を紹介する。
18	金曜日	4	地域文化政策論	朽木 量	一連の政治改革の成果として、「地方分権」などの政策が進んでいる。こうした政策のもとでは、特色ある地域づくりを行いながら、独自の地域文化を創造していかなければならない。本講義では、国や地方自治体における「文化立国」のための地域文化振興策の概観と、その具体的な成果としての地域における文化財行政を中心に講義する。さらに、様々なモノを展示してきた博物館のあり方を中心に文化についての施策を見直し、情報技術を用いた新たな博物館を実際に構築しながら、人間が文化を構築していくことの意味を模索していく。文化関連の行政施策に興味のある学生、文化関連のNPO法人等に就職を希望している学生、地域活動や文化活動に興味のある学生にもぜひ履修してほしい内容である。授業中に提示した問題にしたがって、ディスカッションする時間を設ける。また、特に必要な予備知識、先に履修しておくべき科目はない。
19	-	-	政治経済学【オンデマンド】	田原 慎二	本科目「政治経済学」は、市場経済を「価格が決まる仕組み」としてだけでなく、「生産・分配・金融・国家・国際関係が結びついた歴史的な経済社会システム」として捉えるための科目である。経済社会における様々な局面、例えば工場での生産、賃金の支払い、企業の投資、銀行の信用、政府の政策、海外との取引などがどのようにつながり、私たちの働き方や生活の安定・不安定に影響しているのかを、一つの「全体のしくみ」として見通す視点を身につけていく。授業ではまず政治経済学の主要学派（古典派、マルクス派、ケインズ派、制度派、新古典派など）を「地図」として見取り、以降の回ではそこに挙げた経済学者や学派の見解を紹介しながら、経済循環（経済表・再生産表式）、価値と価格、所得分配、資本蓄積、景気循環と危機などといった基本的な論点について段階的に学ぶ。中盤以降は、日本資本主義の特徴、経済の金融化、グローバル・バリューチェーン（GVC）といった現代的なトピックについて扱う。また、資本主義の多様性論、ピケティ以後の不平等論争、現代貨幣理論（MMT）、資本主義の持続可能性など、識者によって見解が分かれるような近年のトピックについても紹介する。この授業の履修を通じて、特定の学派・理論を「唯一の正解」としてではなく、現実の経済現象を説明するための異なる視角として理解し、身につけることを目指す。あわせて、価値・価格・分配・金融・国家・国際分業といった論点を、歴史的背景や制度的条件と結びつけて読み解くことで、現実の経済ニュースの解釈や実社会での意思決定において自分なりの判断を行っていくための基礎力を養う。

#### 【サービス創造学部（春学期）】

No.	曜日	時限	科目名称	担当教員	科目概要
1	火曜日	3	ブライダルサービス論	宮下 美砂子	現代日本におけるブライダルサービスの裾野は広く、国内で大きな市場規模を成す産業の一つである。しかし、人口減や価値観・ライフスタイルの多様化・ジェンダー構造の変容などを受け、結婚式・披露宴に対する人々の考え方や行動は近年大きく変化している。本講義では、ブライダルサービスの歴史と全体像を俯瞰したうえで、本サービスならではの特徴と現代における課題について考察し、理解を深める。未来志向の持続可能で包括的な新しいブライダルサービスの創出に向けて視野を広げる。

No.	曜日	時限	科目名称	担当教員	科目概要
2	火曜日	5	小売・流通サービス論	大下 剛	本講義は、小売業を中心とした流通サービスに関する知識を学ぶ。様々な小売業態のサービス展開と、その理論的背景について学習する。販売士資格保有者（認定登録講師）による実務経験に基づいた講義を実施することで、学生に実務と販売士資格の繋がりを理解する。大学の流通・マーケティング科目の学修意欲の向上につながる講座と位置づけられる。
3	木曜日	4	観光サービス論I	具 敏靖	本科目は、日本の政府・地方自治体の行政が取り組む「観光政策」に関する理解を深める内容で構成される。昨今の日本における社会環境と観光マーケットの状況について解説を行い、日本の観光における課題及び観光政策の必要性・意義について理解できるように解説する。観光庁に代表される各省庁で行われている観光政策から、地方自治体における観光施策の展開について、事例を交えて説明し、観光立国し新基本法と基本計画について詳細に学習する。
4	金曜日	4	業界セミナー2	中村 聡宏	スポーツをはじめ、映像、音楽、演劇、演芸、アミューズメント、アトラクションなど、私たちにとって非日常を味わうことのできる「エンターテインメント」。中でも、スポーツ・エンターテインメントについてそのサービスのあり方、ビジネス構造、特徴、歴史的背景などを把握しながら、現状の課題や今後の可能性をビジネス視点で考える。

#### 【人間社会学部（春学期）】

No.	曜日	時限	科目名称	担当教員	科目概要
1	月曜日	4	社会保障論	齋藤 香里	ウェルビーイングの視点から社会保障制度について考える。ライフサイクルと社会保障制度、日本における戦後の社会保障制度の変遷を学ぶ。さらに、医療制度と年金制度について考察する。
2	火曜日	1	環境社会学	藤井 紘司	本講義では、地域社会の暮らしと環境問題に関心を寄せてきた環境社会学がどのようなアプローチをとってきたのか、また、どのような成果を实らせてきたのかを考える。基本的にフィールド研究をベースとし、前半は東南アジアのボルネオ(Heart of Borneo)、後半は日本国内の複数のフィールドをとりあげる。なお、本講義では、映像作品の上映に加え、グループ発表や討論を実施する。
3	火曜日	2	ユニバーサルデザイン論	猪熊 ひろか	本授業では、ユニバーサルデザインの基本的な内容について理解し、より多くの人が利用しやすい製品や生活環境に関する知識を得ることを目標とする。福祉に配慮した環境の必要性が生じる背景を学んだ上で、より多くの人が利用しやすい製品、より多くの人にとって住みやすい住環境とそれを支える制度、より多くの人が利用しやすい生活環境について、具体的な事物や事例を分析し、考察する。
4	水曜日	1	現代文化論	権 永詞	「現代文化」という言葉から何をイメージするだろう。漫画やアニメ、ゲーム、ドラマ、映画、SNSなどでの様々なコンテンツだろうか。あるいは、食べ物やファッション、バズワードなどの流行だろうか。それとも、旅行をした時に会う、その土地ごとの景観や風習だろうか。考え始めると、何が「文化」で、どこが「現代」的なのか、そのイメージは簡単にはまとまらない。この講義では、現代社会に特有の経済的、社会的、政治的な仕組みや制度、歴史を背景に、文化的なものごとが現代社会において、どのように生み出され、流通し、解釈され、そして変容してきたのか、今後、どのように変容していくのかを考える。その方法として、この講義では、資本・差異・越境・闘争という4つの視座を用いる。「現代文化」は、私たちの経済社会的な生活に影響を与え、「わたし(たち)」と「あなた(たち)」を区別する境界として機能し、時にその境界を越える力をもたらし、そして、時にその境界を巡る争いをもたらす。複雑かつ急速に変化し、不確実性を増している現代社会を生きていく上で、文化についての理解がもたらすものは何か。言い換えれば、「現代文化」という視点をとることで見えてくる現代社会の理解がこの講義の目指すものである。

#### 4. 秋学期 開講科目

##### 【商経学部（秋学期）】

No.	曜日	時限	科目名称	担当教員	科目概要
1	月曜日	2	管理会計論II	土屋 清人	管理会計は、営利・非営利を問わず組織を運営するときや、意思決定を行う際に必要とされる会計情報を提供するものである。この講義では、営利を目的とした企業の管理会計について学習する。すなわち、管理会計の内容は、未来に向けての意思決定会計と過去を振り返る業績評価会計といえる。企業には様々な業種がある。業種(業界)が異なる際には、それぞれの特徴と経営のポイントがある。それらを把握した上で、業績評価を行うことが効果的であり、実務を想定した管理会計の修得を目指すものである。また、SDGs・持続可能な社会の実現・循環型社会形成において会計知識をどのように活用すべきかは、他の学問領域(建築、租税法、憲法、マーケティング理論、経済学、倫理学)と会計学をどのように関連付けるかがポイントとなる。その方法論の修得を目指す。講義では、具体的に「建物」を例示して学習する。

No.	曜日	時限	科目名称	担当教員	科目概要
2	火曜日	1	ファイナンス入門	三田村 智	ファイナンスとは資金の流れをとまなう様々な領域を取り扱う学問である。例えば、企業は投資プロジェクトを実行するかどうかについて、収入と費用を比較考量して決める。この際、もっぱら収入と費用は金額ベースで評価される。プロジェクトを実行することになれば、必要な資金を調達することになる。そして、プロジェクト実行後に成果が生まれれば、債権者に利子や元本を返済し、法人税が支払われた後に、残りは株主に配当したり、一部を留保して次年度以降のプロジェクトに活用したりする。このように投資決定、資金調達、株主への配当・利益還元からなる企業活動は、常に資金の流れをとまなう。企業だけではない。ファイナンスは、私たちの経済生活にも深く関連する。私たちはしばしば、収入の一部を生活費などの消費にあて、残りを将来のための貯蓄にまわす。家を建てたりマンションを購入したりといった大きな買い物をする際には銀行からの借入れ(住宅ローン)を利用することがある。では、ふだんの生活の中で、どのように余った資金を運用し、どのように足りない資金を借り入れて返済していけばよいのか。これを考えるのもファイナンスである(ファイナンシャル・プランニング)。ファイナンス入門では、企業金融論、資本市場論、証券投資論からなるファイナンスについて、その基礎・全体の構造をわかりやすく講義する。この授業を通じて、ファイナンスの視点から企業の経営活動・経済の仕組みに対する理解を深め、また株式投資など経済生活に有効な知識も身につけよう。
3	水曜日	1	経営戦略論(商経)	坂本 旬	企業をはじめとする組織は、外部環境や組織特有の価値観などを考慮して目的を定め、その目的に向かってどのように進むかという方向づけを行っている。また、そうした方向づけに従って適切な組織を設計し、日々の活動に取り組んでいる。このように、組織が長期的な目標を達成するための道筋について、組織が置かれた環境との関わりで示した長期的な構想が、経営戦略である。本講義では、企業を中心とした組織で行われる様々な意思決定のガイドラインやルールとなり得る戦略とはどのようなものか、そしてそれはどのように決定されるかということについて、経営学や経済学の考え方をを用いて検討する。また、経営戦略論は実践的な側面を多くもつ学問でもある。したがって、企業の実際のケースを多く用いながら戦略について学び、戦略の基本ツールや枠組みを活用しながら、優れた戦略を策定するためのプロセスについても考察する。
4	水曜日	2	情報ビジネス論II	楊 文賢	AI、IoT、ビッグデータなどのデジタル技術が急速に進化する中、企業の経営戦略も大きな変革を遂げている。本科目では、「情報ビジネス論I/情報ビジネス論」で学んだ基礎知識をもとに、最新のデジタル技術の動向と、どのように各業界に活用されているかを探求する。また、注目される生成AIについて、その基礎を学び、ビジネスにおける実践的な活用方法を体験する。
5	木曜日	5	経営組織論(商経)	布施 雄治	本科目では、経営組織論の一分野である「マクロ組織論」の講義を行う。組織には企業、大学、政府・行政やNPOなどがあるが、本科目ではマクロ的視点から企業という組織を理解することに重点を置く。具体的には、組織の定義、組織構造、「組織と戦略」、2社以上の企業間で繰り広げられる協調関係の構築といった組織間関係などのテーマを扱う。組織を理解するために、「マクロ組織論」の基礎知識と理論を修得し、組織や企業活動に関して今日実際に生じている問題についても理解を深めていく。
6	金曜日	1	初級簿記II	森 浩気	本講義は、簿記会計の初心者を対象に、各種専門科目を学ぶために必要不可欠な簿記の基礎知識を習得させることを目標とする。簿記会計は、企業が行う取引を記録する技術である。企業が行う取引を適切に理解するためにも簿記会計の知識は必要である。また、財産管理や営利企業の利益計算にも簿記会計は必要である。この様に取引の適切な理解、財産管理、利益計算等に不可欠な簿記会計の技術を解説する。なお、簿記会計には各種の資格試験があるが、これらの資格取得への導入としても役立つ。初級簿記IIでは、主に、商品売買取引などの重要な取引の記録、決算整理について学ぶ。
7	金曜日	2	流通経済論II	野木村 忠度	流通経済論IIでは、流通経済論Iで学修した生産と消費を繋ぐ活動である「流通経済」の基本的な知識を活用し、流通経済活動を担う流通業者の動態及び新たな流通システムとなるEコマースについても考察していく。また、適切な流通システムを維持・創出するためのバランス装置となる流通政策についても学んでいく。※流通経済論IIからの学修でも問題ない。
8	-	-	マーケティング論I【オンデマンド】	大風 薫	マーケティングとは、日々変化する環境へ適応しながら行う「売れ続ける仕組み作り」または「(消費者に)選ばれ続ける仕組み作り」である。それには消費者ニーズ、外部環境、強みや弱みとなる経営資源、競合の戦略など様々な要素を分析しながら、効果的な戦略立案を効率的に行わなければならない。そこで本講義では、最も広く受け入れられている伝統的マーケティングの概要と、それに付随する基礎的な諸概念と理論を中心に、近年のマーケティング論の広がりについても学んでいく。
9	-	-	マーケティング論II【オンデマンド】	櫻井 聡	マーケティング・マネジメント戦略において企業は「マーケティング・ミックス」を策定する。これはProduct(製品)、Price(価格)、Place(流通)、Promotion(プロモーション)の4つのPから構成される。そこで本講義ではそれらの各論について学んでいく。また、マーケティングの中心的概念である「消費者」のモデルや、その他の重要事項など「もう一步深く入り込んだ」マーケティングの諸概念と諸理論についても学んでいく。

No.	曜日	時限	科目名称	担当教員	科目概要
10	-	-	経営管理論(商経) 【オンデマンド】	奥寺 葵	20世紀の文明が築き上げた産業社会は、企業を中心に展開されているといっても過言ではない。具体的には、仕事はもちろんのこと、衣食住、移動手段、通信手段、テーマパークなどの余暇を楽しむためのサービスに至るまで、企業を抜きに生活を考えることは出来ない。すなわち、経済活動の中心的担い手は企業であること、また企業の活動とその成果が人々の生活の豊かさに結びついていること、そして多くの人々が仕事の満足や社会的生活の充実を企業から得ていることなどは、経済体制や国情とは無関係に全ての国に共通する現実である。それだけに人々の豊かさを社会的に実現しようとする社会科学にとって、企業の経済活動の分析は真正面から取り組むべき最重要課題である。本講義では、企業の内部における人と資源が織り成す有機的な協働システムの実態を把握し、そこから生み出される企業に固有の独自能力の展開を理解することを課題としている。すなわち、企業のマネジメントを問うこと、経営管理とは何かを理解することである。そのために、本講義では、現代の企業の実態に照らし合わせて、伝統的なミクロ的的管理論にとどまらず、組織論や戦略論の成果を十分に踏まえ、環境適応や組織変革、グローバル戦略や現代日本の経営管理など、最新の領域も積極的に取り入れ、体系的に経営管理を理解することを狙いとしている。学生の皆さんには積極的な講義への「参加」が求められる。
11	-	-	組織行動論 【オンデマンド】	張 森	本授業では、企業・組織内で働く従業員個人や集団レベルの現象を扱う。たとえば、皆さんそれぞれが所属する組織の中で、「どのようなチームであれば良いパフォーマンスを上げるのか」「メンバーのモチベーションはなぜ上がらないのか」など、ふと疑問に思ったことがあるのではないかと。このような身近に存在する「人」に関する疑問に対して、企業をはじめ様々な組織を対象としながら分析できるようにすることを目的とする。
12	-	-	情報システム論II 【オンデマンド】	小林 直人	情報システムとは、情報を収集・処理・蓄積するコンピュータと、情報を伝達するネットワークを組み合わせた、様々なサービスや機能を提供する仕組みである。本科目は「情報システム論I(情報システム論)」に続く科目として、情報システムの実現方法や開発方法について、より応用的内容を扱う。具体的には、実際の業務システムや、AIなどの要素技術を題材として、データの記録方法やデータの流れ、それらの処理手順を具体例を通して整理する。これにより、「情報システム論I(情報システム論)」で学んだデータベース、システム開発、アルゴリズム(プログラミング言語)の知識を実践的に結び付けると同時に、AIや業務システムなどの仕組みを通して、情報システムの社会的役割を理解する。講義を通じて、現代社会における情報システムについて、その技術的仕組みを理解するとともに、様々なサービスで利用されているAIなどの要素技術を適切に評価し、主体的に活用できる基礎的能力を養うことを目的とする。

#### 【総合政策学部(秋学期)】

No.	曜日	時限	科目名称	担当教員	科目概要
1	月曜日	1	AIと社会	長尾 雄行	AI(Artificial Intelligence)は近年急速に発展し、専門的な技術を前提とせずとも誰もが社会の中で必要な場面に応じて活用できる、新たな情報インフラの一つとなりつつある。本科目は、文章による質問への自動応答や、文章に基づく画像・デザイン生成などの機能を実際に体験しながら、AIで用いられている機械学習等の基本的な動作原理を理解する。あわせて、利用者の立場からAIを社会の中で適切に活用するために必要な知識と判断力、ならびに基礎的な実践スキルの修得を目指す。
2	月曜日	1	企業経済学	磯山 友幸	第2次世界大戦後、焼け跡から立ち上がった日本の企業は、瞬間に高度成長を遂げ、世界を席巻した。いったいなぜ、日本企業は強さを発揮したのか。経営者が伝統的に引き継いできた「改革精神」が危機に直面していかに発揮され、企業を成長させた。豊田佐吉、松下幸之助、土光敏夫、稲盛和夫と脈々と続いてきた改革の系譜の原点を探るとともに、バブル崩壊後、そうした改革精神が潰え、政府への依存を強めた日本企業の経営者の問題点を探る。経済思想からコーポレートガバナンスまで、日本企業が本来持つべき強さの秘密を探り、なぜ今、日本企業が弱体化しているかを検証する。
3	月曜日	1	経済数学	後藤 啓	入門から中級レベルの経済学を勉強する上で必要となる数学を学びます。具体的には、集合・関数、連立方程式、行列、数列、級数、極限、指数関数・対数関数微分、最適化などについて学びます。また、経済学関連の科目でよく出される問題を積極的に演習として扱う予定です。
4	月曜日	4	人間行動論	小野 聡	本授業では、人間が必ずしも合理的に行動しないことを前提に、社会心理学および行動経済学の理論を用いて、人間行動および集団行動がどのような構造のもとで生じているのかについて議論する。知識や善意があっても望ましい行動が必ずしも実現しない理由を明らかにする。また、限定合理性の概念を基礎仮定として、人々の認知や相互作用、制度や環境の設計が行動に与える影響について理解を深める。これらを通じて、「教育・啓発すれば解決する」という発想を相対化し、人間行動を構造的に捉えた上で、政策や制度設計を考えるための視座を身につけることを目的とする。
5	火曜日	1	コミュニティ政策論	戸川 和成	暮らしやすさとは何だろうか。本研究では、受講者の皆さんと、このテーマに対して、様々な問題を投げかけ、コミュニティ政策の視点から一緒に考えることにしたい。それは、様々な人々が生活しており、住民のニーズに上手く応答しながら、住民が満足する(納得する)政策や公共サービスを供給するためには、行政の対応だけでは難しいということが関係している。少子高齢化や未曾有の大災害の影響を受け、全体の奉仕者を担う行政も盤石ではないというのが現実である。とりわけ、地域社会では市民社会組織が連携し、住民が協力し合うまちづくりが求められており、この取組を考える上では「コミュニティ政策」という視点が重要である。本講義では、コミュニティ政策は、「ボトムアップの民主的参加によるコミュニティ形成を通して、より良い暮らしの実現を目指す諸方策の総称」として捉えたい。なぜならば、行政と自治会・町内会などの近隣住民組織、NPO/NGOなどの市民社会組織の協働の取組を通じて具体化される政策だからである。以上より、「コミュニティの形成」と、「より良い暮らしの実現」を視野に入れながら、コミュニティ政策の概念について、概括的ではあるが、基本的理解の習得を目指す。そして、「ソーシャル・キャピタル」と「都市ガバナンス」をキーワードとしながら、コミュニティ政策の具体的な政策事例の内容と実践方法について考えていく。

No.	曜日	時限	科目名称	担当教員	科目概要
6	火曜日	2	ミクロ経済学II	佐藤 哲彰	<p>社会には無数の人々が存在し、様々な組織や機構が形成されている。それらが相互依存しつつ複雑に関連している経済活動も、全体としては秩序が保たれているように見える。このような個人と全体との経済秩序を保つメカニズムを解明することが、本講義の目的である。講義では、一般均衡理論を中心に解説を行う。競争市場において消費者や生産者はどのように行動するのか、競争市場の基本的な性質とは何か学ぶ。講義の後半では、種々の経済制度の性質を明らかにした上で、制度の理論的な比較分析を行う。講義の内容は、ゼミナールでの活動を含め、経済の各コースを本格的に勉強しようとする人にとっての基礎となるであろう。授業は、講義と演習セッションからなり、演習セッションでは主として講義の理解を深めるための問題演習などを行う。演習問題を課題として提出してもらうことになる。CUCポータルのカラダプロフィールからミクロ経済学IIに関する講義資料や課題を必ずチェックする必要がある。課題の配布方法は、初回の講義に必ず出席して詳細を確かめること。</p>
7	火曜日	2	公法各論	大久保 優也	<p>講義では、憲法の統治機構分野を中心とし、その後、行政訴訟法を扱う。憲法及び行政法は抽象度が高い分野であるので、できる限り事例問題を扱いながら講義を行う。憲法(統治)及び行政訴訟法は、公務員試験など、各種国家試験においても出題される分野である。受講者は特に復習に力を入れること。講義では、まず、検討問題という簡単な問題を配布し、(受講者のそれまでの知識や直感を通じて)考えてもらう予定である。そして、それに対して判例や理論的立場から応答を行い、受講者の理解を促す。また、毎回予習課題としていくつかの問題を配布して、次の講義で受講生に答えてもらうことも予定している。この講義では、具体的な事例問題を数多く用いる予定である。</p>
8	火曜日	3	環境アセスメント	杉本 卓也	<p>環境影響はその性質から不可逆な可能性もあるため、未然防止の考え方に則り、事前に調査を実施した上で、影響を予測、評価を行い、その必要性に応じて効果的な措置を採る必要がある。環境アセスメントとは、上述のことを実施するための制度であり、持続可能な社会づくりのための意思決定を支援するためのツールである。本授業では、上記の環境アセスメントについて、その制度や事例を解説する。</p>
9	火曜日	3	行政法	大久保 優也	<p>憲法や民法などと異なり、「行政法」という名前の法律は存在しない。行政法学では、多数ある行政法を①行政組織法(行政を営む役所や公務員に関する法律)、②行政作用法(役所がすべき内容や手続きを定めた法律)、③行政救済法(行政活動により国民の権利が侵害され不利益を被った際に、それを救済することを定めた法律)に大別されている。行政法は、行政を動かさせるための不可欠のツールであり、公務員試験など、各種国家試験においても中心的な位置を占めており、学習を欠かすことができない分野でもある。受講者は特に復習に力を入れること。講義では、まず、検討問題という簡単な問題を配布し、(受講者のそれまでの知識や直感を通じて)考えてもらう予定である。そして、それに対して判例や理論的立場から応答を行い、受講者の理解を促す。また、毎回予習課題としていくつかの問題を配布して、次の講義で受講生に答えてもらうことも予定している。この講義では、具体的な事例問題を数多く用いる予定である。</p>
10	水曜日	2	データ分析プログラミング	小野 聡	<p>本授業では、R言語を用いたデータ分析およびビジュアライゼーションの基礎を学ぶ。プログラミングや統計の事前知識を前提とせず、データを可視化し、そこから読み取れる内容を考察することを重視する。授業は動画教材の事前視聴と演習を組み合わせた反転授業形式で行い、Rによるデータ分析の基本的な考え方や実践的な活用方法を体験的に学ぶ。</p>
11	木曜日	3	政治的公正と経済	山田 武	<p>本講義は、政治哲学の主要な判断基準(功利主義・自由主義・自由至上主義・共同体主義)を学び、社会問題に対して受講者が自分の見解を論理的に形成するための基礎を身につけることを目的とする。チケット販売、年金、外国人労働者、最低賃金、観光公害、課金サービス等の具体例を取り上げ、判断基準の違いから異なる主張が生じることを理解する。事前準備→講義→ロールプレイやグループワーク→自分自身の見解の発表→振り返りのサイクルにより、インプットだけでなくアウトプットを通じて深く学ぶ。</p>
12	木曜日	3	行政学	淵元 哲	<p>行政とは、憲法や法律に従いながら、国民から徴収した税をつかって、様々な公的なサービスを企画したり、実施したりすることをいう。この公的サービスの企画には、首相を長とする「内閣」や地方公共団体の長といった政治家だけでなく、行政官庁で働く公務員も関係してくる。つまり、行政の担い手は、政治家とその下で働く官庁(公務員)の両方であるといえる。この講義では、内閣、中央省庁、地方公共団体の仕組みや、公務員制度の基本を学ぶとともに、それら行政の担い手が互いにどんな関係にあるかについても学んでいくことを目標とする。また近年では、この行政領域に一般国民や地域住民も関与するようになってきており、この講義では、そのしくみも学習していく。</p>
13	木曜日	4	マクロ経済学II	中尾 将人	<p>マクロ経済学とは、国レベルの経済を分析対象とするものであり、GDPや物価、失業などがどのように決まるのか、また、財政政策や金融政策というマクロ経済政策が一国の経済にどのように影響を与えるかについて学ぶものである。本講義では、財政政策や金融政策というマクロ経済政策が一国の経済にどのように影響を与えるかについて、IS-LMモデルやAD-ASモデルを用いて講義する。</p>
14	木曜日	4	地域社会と文化	朽木 量	<p>村落社会・地域社会の崩壊や、世代間コミュニケーションの減少を背景に地域文化の危機が叫ばれて久しい。しかし、自国の生活文化を研究対象として、その歴史的な変遷や地域差を明らかにし、現代社会を捉え直していく民俗学やその他の地域文化学の有効性は決して失われてはいない。本講義では、自然環境と人間のかかわりを単に知識として習得するのではなく、民家の構造や道具(民具)、生業など人間の日常的な暮らしや活動が、いかに環境と結びついているかを具体的に理解し、それらを活用していく術を模索していく。</p>

No.	曜日	時限	科目名称	担当教員	科目概要
15	金曜日	3	アジア経済論	藤田 輔	本講義は、世界経済の中でも、主に日本企業によるビジネスの視点を中心として、急速な発展を遂げてきたアジア諸国の経済構造を体系的に学修し、そのグローバルな位置付けを把握することに焦点を当てる。まず、貿易や直接投資という国際経済の基本的枠組みを確認し、アジア諸国がどのように工業化や経済発展を実現してきたのかを分析する。続いて、その過程において、日本企業による現地展開や各国(ASEAN、中国、インド、韓国、台湾)の経済状況がどのように位置付けられているかという観点から、具体的事例を通じて、アジア市場でのビジネスの実態を学ぶ。また、日本企業にとっての手強いライバルであり、発展の原動力になっているアジア新興国企業の特徴にも注目し、グローバルな産業構造の変化を考察する。そして、アジアを中心とした新興国の経済的台頭が国際協調体制を変化させている動きを踏まえ、アジア経済のグローバルな立ち位置とその将来像を展望する。
16	金曜日	4	政治過程論	戸川 和成	私たちの生きる現代社会は、財政問題や例外なく直面する少子高齢化の問題など多様で複雑な問題であふれている。それは個人の努力だけでは解決できない問題である。公共政策は、社会の問題であると認知され、「政策問題」と化した問題の解決手段・解決案を指す。そのため、公共政策は非常に広範囲で、私たちの生きる現代社会でとても重要である。この講義では、コロナ禍をめぐる自治体行政の災害対策から、日本の教育政策、ICT政策と技術進歩、外交・安全保障政策、移民政策という多岐に及ぶテーマを扱う。それは危機の時代における社会秩序と統合、技術革新とセキュリティの問題をめぐる公共政策の対立軸を明らかにする。この講義では、1) 数多くの問題の解決案である「公共政策とは何か」という問題に対する基本的理解の習得を目指す。とりわけ、「公共政策の対立軸」という視点から、ケース・スタディを取り上げて、「制度」・「規範」を整理した上で、政策運営のプロセス(政策過程)を考える。それは、2) 公共政策を社会からの要望・要求が政策として変換されるマクロな政治プロセスである。とりわけ「政策過程」に関する着想を得ること、日本の公共政策を概括的に説明しうる能力の育成を目指す。また、政治という舞台では、3) 「誰が役者(アクター)か」ということを念頭に置きながら、考えていく必要がある。この講義では、概括的に公共政策をめぐる諸アクターの役割を整理する。
17	金曜日	4	質的調査法	朽木 量	質的調査法とはさまざまな質的データの収集や分析方法について解説する科目である。フィールドワークに限らず、聞き取り調査、参与観察法、映像分析、内容分析、インタビュー、ライフヒストリー分析などを実際に体験してもらいながら身につけてもらう。

#### 【サービス創造学部(秋学期)】

No.	曜日	時限	科目名称	担当教員	科目概要
1	月曜日	2	物流サービス論	大下 剛	本講義は、物流業界で展開されるサービスに関する知識を学ぶ。商品のコモディティ化が進む中で、物流サービスの重要性が高まっている。物流業界の特徴を理解するとともに、様々な物流サービスの経済性と、その理論的な背景について学習する。
2	木曜日	4	観光サービス論II	具 敏靖	レジャー(余暇)はいわゆる自由時間のことを指し、週休2日制や長期連続休暇の普及、高齢化社会の到来、家事時間の減少などにより拡大している。また、レジャーに対する認識も、国民の所得水準の向上やデジタル技術の発達などと相まって大きく変わってきた。その上、新型コロナウイルス感染症によるリモートワークの普及は人々の考えを根本的に変化した。このような背景のもと、この授業ではレジャー活動の中でも大きな部分を占める旅行を中心に、観光の基本的概念から解説を行う。この授業の履修により、時代による変遷と共に、人々のレジャーと旅行の行動について俯瞰して理解することを目指す。

#### 【人間社会学部(秋学期)】

No.	曜日	時限	科目名称	担当教員	科目概要
1	月曜日	1	障害者福祉論	和田 義人	この講義では、現代社会における障害者の生活実態とこれらを取り巻く社会情勢、障害者福祉に関する制度について理解することを目的とする。まず総論として、現代社会における障害者を取り巻く社会情勢と生活実態、障害の概念、障害者福祉の歴史、障害者福祉の財源について学ぶ。特にコロナ感染症の感染拡大で見てきた障害者の暮らしの変化にも視点を向ける。これらを学んだ上で、各論として、国際生活機能分類(ICF)、障害者にかかわる法体系、障害者自立支援制度、組織・機関の役割、専門職の役割と実際、多職種連携・ネットワークングなどについて学ぶ。
2	月曜日	2	サステナビリティと環境	中山 琢夫	気候変動をはじめとする環境問題は、我々の暮らしだけでなく、企業のビジネス活動にも大きな影響を及ぼす。2023年からサステナビリティに関する開示が始まり、2025年にはサステナビリティ開示基準が公表され、ビジネス界の関心も高まっている。サステナビリティ課題を前に、正しい問いに向き合うことが求められている。そのためには、この基準の「こころ」を読み取ることが重要である。本科目では、これらの基準の内容を理解し、その先に広がる未来の可能性を展望する。
3	火曜日	2	コミュニティと文化	中倉 智徳	コミュニティには、それぞれの文化がある。その文化はどのようにつくられていくのだろうか。例えばポートランドのシティペアのような、住民たちがコミュニティをつくりなおし、「住みやすいまちづくり」を目指すものから、抵抗文化とともに創られるコミュニティもある。この授業では、社会学や都市論の知見から、実践事例や理論を学んだうえで、自分たちがよりよいとおもわれるコミュニティと文化をつくるための提案を行なうことをめざす。
4	木曜日	2	地域計画論	青木 佳子	本講義では人口減少をはじめとした地方・地域が抱える諸課題を理解し、それに対する取り組みを知る。さらに、自らフィールドにおける事例を調べ、他の学生と意見交換しながらグループワークや講義内におけるディスカッションを通して地域が抱える課題に対する取り組みについて考え、理解する。

# 千葉商科大学 学事暦

## 【2026年度春学期】

※学期中に全13回授業を実施。初回が①、2回目が②のように、数字が入っている日が授業日となる。

		日	月	火	水	木	金	土			日	月	火	水	木	金	土
4月		1	2	3	4	入学式						1	2	3	4	⑪	補講日
	5	6	7	8	9	10	11			5	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17	18			12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25			19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30					26	27	28	29	30	31		
5月						1		2									1
	3	4	5	6	7	8	9			2	3	4	5	6	7	8	
	10	11	12	13	14	15	16			9	10	11	12	13	14	15	
	17	18	19	20	21	22	23			16	17	18	19	20	21	22	
	24	25	26	27	28	29	30			23	24	25	26	27	28	29	
	31									30	31						
6月		1	2	3	4	5	6					1	2	3	4	5	
	7	8	9	10	11	12	13			6	7	8	9	10	11	12	
	14	15	16	17	18	19	20			13	14	15	16	17	18	19	
	21	22	23	24	25	26	27			20	21	22	23	24	25	26	
	28	29	30							27	28	29	30				
7月																	
	5	6	7	8	9	10	11			5	6	7	8	9	10	11	
	12	13	14	15	16	17	18			12	13	14	15	16	17	18	
	19	20	21	22	23	24	25			19	20	21	22	23	24	25	
	26	27	28	29	30					26	27	28	29	30			
8月																	
	3	4	5	6	7	8	9			2	3	4	5	6	7	8	
	10	11	12	13	14	15	16			9	10	11	12	13	14	15	
	17	18	19	20	21	22	23			16	17	18	19	20	21	22	
	24	25	26	27	28	29	30			23	24	25	26	27	28	29	
	31									30	31						
9月		1	2	3	4	5	6										
	7	8	9	10	11	12	13			6	7	8	9	10	11	12	
	14	15	16	17	18	19	20			13	14	15	16	17	18	19	
	21	22	23	24	25	26	27			20	21	22	23	24	25	26	
	28	29	30							27	28	29	30				

